

究し、実現に向けた努力をしていく考えはないか。

答 実のなる木の植樹については、既に実施している。今後も、都の苗木生産供給事業などを活用しながら、緑化に努めたい。また、芝生化についても、研究を重ね、方向性を検討していきたい。

学校選択制
高橋議員 教育委員会は、学校配置の見直しを行う場合、望ましい学校規模を確保して、当該学校の教育内容の一層の充実を図られるように配慮するとしている。一方で、学校選択制は、指定校の変更が弾力的に行われていることを念頭に置き、慎重に検討している。この考えからすると、適正規模・適正配置から先に取り組むべきではないかなぜ、学校選択制と同時並行させるのか。

答 議論は同時に行っているが、学校選択制については、学校再編の案を示したうえで、導入する考えである。

幼保一元化

小串議員 ①今後の幼児教育については、保育園、幼稚園、幼保一元施設の三通りで考えるべきだが、区の見解はどうか。②私立幼稚園の幼保一元化にあたり、教員の保育士資格取得や施設改善について、区が支援できないか。

答 ①今回の組織改正で子ども家庭部を設置し、きちんとした視点で、総合的に検討・推進していく。②個人がとる国家資格は、本来的には自己負担と考える。施設整備費は、現在の都の私学助成事業には項目がないが、今後、何らかの支援が必要になる場合もあると考える。

心の教室相談員

小串議員 ①16年度、全小中学校に配置される心の教室相談員に対し、教師の役割を含め、どんな効果を期待するか。②スクールカウンセラーの配置についてはどう考えるか。

答 ①15年度は3校で試し、効果が出ている。問題解決

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない 求めない 受け取らない

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ① 祝儀、香典、供花の贈与
 - ② 祝電、弔電等の発送
- 病気等の見舞いにおける金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

※本人または配偶者が出席する場合は、会費相当額を限度とする。

決の中心的な役割を担うのは教師だが、相談員には、問題の早期発見や適切な情報提供などにより、解決の糸口を見つけている。②人数や経費の面で、現段階では小学校への配置は難しい状況である。

公教育の充実

近藤議員 学校選択制の予算にパンフレット印刷費があるが、いくら立派なパンフレットを作っても、そこに通っている子どもたちが生き生きとしていなければ、保護者はその学校を選ばないのではなか。中野区の学校はどこに行っても良い学校だという学校づくりに力を入れるべきだ。

答 各学校が取り組んでいる教育内容、教育方針、どういう子どもに育てたいのかといったことを理解していただくことが必要と考え、学校案内子ども・高齢者の安全対策

区政一般

高倉議員 区は、区立小・中学校および地域団体に対して、約2万個の防犯ブザーを配布する。単価も安いので、高齢者にも配布することはできないか。また、地域センターや高齢者会館などに防犯ブザーを設置できないか。

答 子どもたちの使用状況などを検証しながら、高齢者への配布についても検討したい。また、スペースを工夫して防犯情報やグッズの展示などを考えていきたい。

内を発行する予定である。幼稚園の公私間格差解消

池田議員

物品の入札にあたって、事前に資格要件を調査し、要件に合致した業者がすべて参加出来るような入札の仕組みを検討すべきでは。答 制限付一般競争入札において、条件を付すことは可能と考えるので、今後の課題として検討したい。

中野サンプラザ

佐伯議員 中野サンプラザを取得する株式会社代表取締役には、民間人ではなく、区長自らが就任すべきではないか。区民に対して経営責任を明確に示すと同時に、会社に対する関与を有利な立場で続けていくためにも、必要なことではないか。

答 区民の財産である2億円を投資しているという最大の株主として、会社が経営を誤らないように監視することが区長としての責任であるので、経営陣に入る考えはない。

区民からの要望・苦情

佐伯議員 三重県名張市では、「市民の声対処カード」をつくり、市民からの要望などに対して、期限を決めて処理すること、事業部の中で確認しながら仕事を進めている。中野区でも、区民から来た要望、苦情などに対して、処理期限を明示する必要があるのでないか。また、期限に間に合わなかった場合には、その理由を説明することも必要なのではないか。

答 説明責任を果たしていくことは必要であると考えている。顧客満足度向上という観点からも、仕事の進め方を見直していく。

生活安全条例

むとう議員 相互監視社会化、密告社会化など市民が警察活動の担い手になるといった特徴を持つ警察国家化が進み、生活安全条例もその一環である。これは憲法が保障するプライバシー権や表現の自由などを縮減し、憲法上看過できない問題を抱えている。条例化するのなら、兵庫県のように、震災の被害の中で見いだした共生やバリアフリーなどの人間観の視点から条例づくりをすべきではないか。

答 安心安全なまちづくりを推進するため、ご提案の視点を持って、生活安全条例の制定に取り組んでいきたい。

市民参加型の行政評価

佐藤議員 目標と成果指標の明示された予算案、目標にあわせた組織編成など、区の取り組みは評価する。区民が行政を評価でき、区民満足を実現できる参加型の行政評価を目指す工夫、区民の意見を求める仕組みを考えているか。

答 行政評価は、区民の視点で区の仕事を評価するものであり、多くの区民が評価に関心を持っていることが重要である。評価指標に区民満足度を入れるなど、わかりやすいものにするために、外部評価委員の意見、指摘に謙虚に耳を傾け、さらに改善の努力をしていく。

区民との協働の推進

久保議員 NPOへの財政支援は、重要な課題である。区民が、支援したい事業に、直接、寄付できる市民バンクを設置し、基金を設けてはどうか。その際、寄付を行う区民には、所得税の控除など、優遇策を設けてはどうか。

答 NPOへの財政支援の重要性は認識している。区民や企業の寄付を原資とし、活用するのは、有効な仕組みと考える。区に直接寄付する場合は、住民税の控除が可能だ。ホームレス対策

ホームレス対策

小串議員 ①公園のホームレス対策が進んでいないことについて、どう認識しているか。②ホームレス解消低額アパートとして、都営住宅や民間アパートの利用方向が示されたが、予想される近隣住民とのトラブルへの対応は。

答 ①公共施設の管理者として、福祉部門や地域、警察

第1回定例会 可決した議案

区長提出議案

●平成15年度中野区一般会計補正予算

歳入歳出予算からそれぞれ31億667万円を減額し、予算の合計額は863億9766万5千円となりました。

●平成15年度中野区用地特別会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ41億1600万円を追加し、予

算の合計額は49億1900万円となりました。

●平成15年度中野区国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ6億3562万7千円を追加し、予算の合計額は270億6462万7千円となりました。

●平成15年度中野区老人保健医療特別会計補正予算

歳入歳出予算からそれぞれ14億2000万円を減額し、